



未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成

杜の風

成田市立公津の杜中学校 学校だより「杜の風」 令和5年度 第9号（12月1日発行）
成田市公津の杜 5-29 ☎0476-20-5511 jh-mori@edu.city.narita.chiba.jp 文責：田野崎 真仁



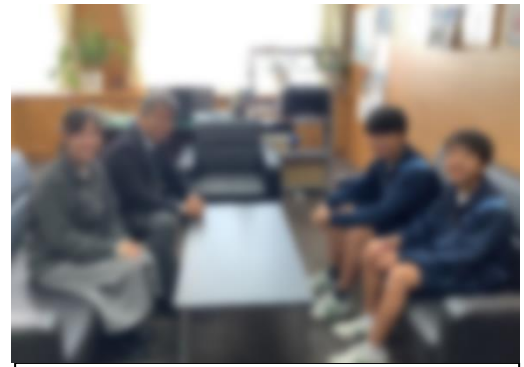
学校HP

～ 地域の方からの感謝の声 ～

11月の中旬に、地域の方（小学生のお母さん）から感謝のお電話をいただきました。紙面を通じてご紹介したいと思います。内容は、次の通りです。

小学校低学年のお子さんが、鍵を道路の側溝に落としてしまいとても困っていたようです。そこに通りかかった杜中の男子生徒2名が、一緒に探すのを手伝ってくれました。鍵はその時には見つからなかったけれど、不安だったお子さんにとって、とてもありがたかったとのことでした。名前を聞く機会が無かったため、学校に電話をして、可能であれば親切にしてくれた生徒に感謝の気持ちを伝えてほしいとのことでした。

このお電話を受けたときに、とても感謝されている気持ちが伝わってきました。本校の教育で大切にしているのは「認め、ほめ、伸ばす」でもあるので、早速探し出して必ずお気持ちを伝えますと約束をして電話を切りました。お電話の中で、3年生の生徒だということは分かっていたので、3学年の先生方を通じて呼びかけたところ、3年生の2人であることが判明しました。校長室にて事の次第を聞いたところ、2人とも、「そんなに大げさなことではなく、当たり前に行ったこと」と謙虚に語ってくれました。会話の最中で時折見せる2人の優しい笑顔はとても印象的で、困っていた小学生のお子さんも、この2人が手助けしてくれたことで、さぞかし安心しただろうと思いました。



校長、担任と校長室にて

今回のように、杜中生が地域の方からお褒めの言葉をいただけると、職員としても非常に誇らしい気持ちになります。中学校に直接電話をするということは、ハードルも高くなるのではないのでしょうか。それでもこのようなお電話をいただけるということは、この2人に限らず、杜中生がいろいろなところで温かい行動をとっているからなのでしょう。これからも、地域に貢献し、感謝される杜中生であってほしいと思います。

～ 成田市教委主催「命の授業」 ～

11月15日（水）に、本校体育館にて成田市教育委員会主催による「命の授業」を行いました。講師には、成田赤十字病院新生児科の医師である濱野聖菜先生と医療社会事業科の課長である関理枝子先生をお招きしました。道徳の授業の一環として、体育館で全校生徒を対象に行い、何名かの保護者の方々にもご参観いただきました。濱野先生からは、ご自身がかつて赴任していたアフリカにあるシェラレオネでの医療従事の体験を交えながら、新生児医療の実情についてお話をいただきました。関先生からは、赤十字病院の歴史や設立目的、赤十字の活動についてのお話をいただきました。生徒の感想を紹介すると、「命の大切さを改めて感じる事ができた」「自分が元気に生まれてくる事ができ、成長できたことに感謝したい」「多様性を尊重し、共生社会を目指したい」などとあり、有意義な時間となったことがうかがえました。これからも道徳科や教科指導を通して、情操教育に努めて参ります。



体育館での全校道徳「命の授業」

青少年感動劇場 ～ バグパイプ、手回しオルガンによる演奏 ～

11月17日（金）には同じく成田市教育委員会主催による「青少年感動劇場」を開催しました。この行事は、毎年、演劇や古典文化、音楽鑑賞などの文化的な公演を、中学校で開催しているものです。一昨年度は落語、昨年度は狂言と古典文化の観劇が続いていました。今年は2名の演奏家の方がバグパイプや手回しオルガンなど、貴重な楽器を生演奏してくれました。また、バグパイプの体験コーナーや、親しみやすい楽曲を演奏したりと多彩な構成で、生徒達がとても楽しんでいる様子が印象的でした。今回の催しをきっかけにして、演奏会などの文化的行事にも興味を持ってほしいと思います。



ステージを降りての演奏



バグパイプ体験

セクハラ相談窓口

本校ではセクハラ相談窓口を設けています。担当は養護教諭の岡本と教頭の田野崎になります。相談したいことなどありましたら、学校（20-5511）までご連絡ください。

生徒も保護者も職員も「公津の杜中でよかった！」と思える学校を目指してまいります。